

「提案先」(以下枠内に50字以内で記載のこと。枠の大きさや位置等の変更は禁止)

ベンチャーキャピタルE社

「提案の要旨」(以下枠内に400字以内で記載のこと。枠の大きさや位置等の変更は禁止)

当社はMission「調和組織構造で、製造業の”不可能”を”可能”に変革し、次世代のサステナブルな社会に貢献する」を掲げ、短期戦略としてロボット関節用途精密減速機で世界シェア60%のナブテスコ社と戦略的パートナーを締結し、新たな強化素材の開発と最終顧客市場の拡大を進め2023年度の売上高12億円を達成する。その後は3Dプリンターによる量産化技術を活かして部品メーカーとして金型・工具市場へ参入し、顧客の製品使用時データを収集し、開発への転用と顧客への提供価値増加のサイクルを創出する。長期戦略としては日本のあらゆる製造業に必要な不可欠な調和組織構造のレイヤーマスターとなり、調和組織構造を核としながら日本の製造業のパワーを復活させる企業になることを目指す。これらを実現するために当社は5年後の2026年中にIPOを達成し、10年後の2030年度には売上高100億円、営業利益18億円を達成する。

■【自社】Mission&Product summary (添付資料1参照)

当社は「調和組織構造」の製造ノウハウを技術(以下、本技術)として有しており、本技術を用いて強化処理を施した金属粉末を粉末冶金により加工した金属は「強度」と「延性」を共に向上することができる。現状の課題は製造コストが高いこと、小ロットでしか製造できないこと、加工方法が粉末冶金に限定されることであるが本技術が実現する中軽量化、素材のロス少なさは、次世代のサステナブルな社会に貢献する有望な技術である。

■【外部環境】金属粉末業界/KSF (添付資料2参照)

素材メーカーとしてコモディティ化による価格競争に陥らないためには①希少性・機能性等の高い加工技術を保有し、②他社の追随を想定した事業展開により模倣困難な競争環境を維持することが重要となる。その為の具体的な施策としては顧客メーカーとの密接な協業や外部環境の変化に対応する柔軟なバリューチェーン(VC)構築、そして材料価格の高騰や顧客市場の需要変動の影響を最小限にすることが重要である。よって素材メーカーとしてのKSFは①高機能性、②顧客メーカーとの密接な協業および柔軟なVC戦略、③川上(素材)および川下(最終顧客市場)を分散させたポートフォリオという3つが挙げられる。

■【外部環境】自社のコア技術・便益 (添付資料3参照)

世界の粉末冶金市場は2020年時点で275億ドルであるが、今後継続した成長が見込まれており、2025年には400億ドルを超えると予想されている。また、前述の技術革新により粉末冶金市場がさらに拡大することが期待されている。

■【全体戦略】事業計画/市場/VC (添付資料4-6参照)

短期戦略では当社の中長期戦略へ活かせる素材開発が可能な市場として産業用ロボット市場を選定し、ナブテス

コ(株)(以下N社)との戦略的パートナーシップにより素材メーカーとして素材ポートフォリオを拡大する。中期戦略ではより早く継続的に最終顧客市場からのバックキャストを実現するため「3Dプリンターによる量産化」技術を活用し、調和組織構造で生成された金属粉末を焼結・成形する部品メーカーとして金型・工具市場へ参入する。長期戦略ではマルチマテリアル化による強化素材を3Dプリンターにより量産化対応させ、日本のあらゆる製造業に必要な不可欠な調和組織構造のレイヤーマスターとなり、本技術を核としながら日本の製造業のパワーを復活させる企業になることを目指し、更なる市場の拡大を目指す。

■【短期戦略】施策概要と売上目標 (添付資料7参照)

熟練労働者の不足が各種産業のオートメーション化を牽引しており、産業用ロボット市場の2025年度の市場規模は730億米ドル(CAGR10.4%)に達するものと予測されている。中でも製造業に不可欠な多関節ロボット(ロボットアーム)において関節部に含まれる減速機は精密な作業を支えるキーパーツであり耐衝撃性と長寿命性が求められており、当社はN社と共同で減速機に利用される「NiCrMo鋼」の強化素材を共同開発し提供する。さらにN社との戦略パートナーの第二段階として、N社が保有するパイプラインのうち油圧機器/商用車市場への素材供給を目指す。油圧機器であるパワーショベル走行ユニットには産業用ロボットと同じ減速機が使われており、商用車のトラックウェッジブレーキチャンパーには「アルミ」の需要があり強化素材として開発し提供する。既存の取引企業(チタン、チタン合金)およびN社との戦略パートナーにより開発された「強化NiCrMo鋼」「強化アルミ」の販売により2023年度に年間13億円、営業利益4億円の売り上げを見込む。

■【短期戦略】具体的施策（添付資料 8-11 参照）

短期戦略においては他社とのアライアンスを最大限に活用することで素材開発に関するコストを抑えることを最優先する。具体的には産業用ロボット関節用途精密減速機で世界シェア 60%を占めるN社と戦略的パートナーシップ結ぶ。N社からは開発に必要な研究及び機材の調達費として、2021年12月に1,500万円の出資を予定している。共同研究という形態となり利用には制限がつくが、共同開発した強化素材を異なる市場へ展開する点については何ら影響を与えるものではない。このためN社との戦略的パートナーシップは当社の素材開発を迅速に進める戦略として有効であると考えます。

■【中期戦略】施策概要と売上目標（添付資料 9 参照）

日本は金型産業に強く市場は裾野が広いとの理由から2030年度の3Dプリンター造形部品市場は8,000億円（全体金属製品市場は8兆円）と予想されており、当社は3Dプリンターによる量産化技術を活用し、部品メーカーとして金型・工具市場へ参入する。具体的にはN社と開発した「強化 NiCrMo 鋼」を3Dプリンターにより自社で製造し販売することにより、顧客の金型・工具使用時データを収集し、開発への転用と顧客へ提供価値増加のサイクルを創出する。部品メーカーとして2025年度に売上高2億円を見込む。

■【中期戦略】具体的施策（添付資料 10-13 参照）

部品メーカーとして金型・工具市場に参入するにあたり、2026年に大阪府東大阪市に2億円で量産化に対応する3Dプリンター工場を設立する。この時点で当社の「表面強化粉末を3Dプリンターによる量産化する技術」は高い競争力を有するため、営業部隊による顧客の製品使用時データを収集し、開発への転用と顧客へ提供価値増加のサイクルを創出する。また、2022年3月に素材販売部門と製造管理部門を立ち上げ、R&D部門と連携しながら専門人材の育成を進める。

■【中期戦略】事業ポートフォリオ（添付資料 14 参照）

短期戦略ではN社と築いた素材・市場のポートフォリオをベースに、強化素材の量産を可能にすると同時に、開発素材を元に既存販路の深耕や新規販路の開拓することで売上を拡大する。中期戦略では3Dプリンター製造による部品メーカーとして市場を拡大し、自社内での正確なバックキャストサイクルをR&Dに活かすことで、競争力のある製造ノウハウを構築しつつ、長期戦略

への更なる飛躍に向けたノウハウを構築する。

■【長期戦略】10年後の価値（添付資料 15 参照）

長期戦略は①素材メーカーとして、②部品メーカーとして、③調和組織構造のレイヤーマスターとしての3つの主力事業により成長を実現する。

（①素材メーカーとして）これまで開発してきた強化素材を粉末冶金などで焼結・生成する企業へ販売する事業を引き続き成長させる。

（②部品メーカーとして）マルチマテリアル化した強化素材を3Dプリンターにより量産化/大型化対応させ、これまで粉末冶金技術ではアプローチできなかった市場へ参入する。（例：自動車・航空宇宙産業）

（③調和組織構造のレイヤーマスターとして）「表面強化粉末を3Dプリンターによる量産化する技術」を進化させ、他社からの請負により強化素材の生成・形成する日本の製造業におけるVC上のレイヤーマスターとなり、素材技術と製造技術の専門人材を育成し、日本の製造業のパワーを復活させる企業になることを目指す。

■【資産計画】獲得すべき資産（添付資料 16 参照）

戦略パートナーN社から開発に必要な研究及び機材の調達費として、2021年12月に1,500万円の出資を予定している。その後、2022年2月に大阪府企業立地促進補助金から2億円および2022年8月にベンチャーキャピタルE社から2億円（シリーズA）の出資を活用し、2023年1月の本社移転と2023年2月の3Dプリンター自社工場建設を実現する。2025年1月に本社を梅田に移転（R&D部門は東大阪市に残す）し、2026年中にIPOを達成後、そこで得た資金を活用し顧客市場を世界へ広げていく。

■【計数計画】売上/想定株価（添付資料 17-8 参照）

上記施策により5年後の2025年度の総売上高は19億円、営業利益は-0.6億円となり、2027年のIPOを達成後の2030年度の売上高は100億円、営業利益で18億円を達成する見込みである。

【短期戦略】参入市場と施策、売上目標

3つの市場に新規参入。自らのキャッシュを生み出すもの、共同開発を開始するもので収益化のタイミングが異なる。少ないリソースを活用しながら、最終顧客ニーズを捉えられるよう川下企業との連携を目指す。外部環境に影響を受けやすいため、素材と市場の両面でポートフォリオを構築する。

ロボットアーム用減速機向け クロムモリブデン鋼の加工

ニーズ ロボットアームの精度向上、長寿命化において減速機の軽量化・高剛性化、高剛性化、長寿命化が求められている

市場動向 素材の熱処理技術や減速機的设计技術改善の取り組みから減速機の性能が向上し、ロボットアームの普及に貢献している

解決できること 素材そのものを強化することでさらなる製品の品質向上に貢献するとともに、軽量化を実現することでCAの改善にも貢献し、提携企業の競争優位性を高める

市場規模 減速機の世界市場規模 930億円 (2020年)

目標売上 3年で世界市場シェア70.5% 4.4億円を目指す

自社戦略 早期に研究開発へ着手し、製品化を促進する ナブテスコと素材の共同開発を行い、製品の導入を進める

パワーショベル用減速機向けクロムモリブデン鋼の加工

市場規模 減速機が組み込まれている走行ユニットの世界市場規模 650億円 (2020年)

目標売上 3年で世界市場シェア1.1% 6.9億円を目指す

自社戦略 提携を目指すナブテスコがロボットアーム向けに製造している精密減速機もパワーショベル向けにも応用しているため、横展開を促し、軽量化を実現することで車両の省燃費化に貢献する

商用車用ウエッジブレーキチャンパー向けアルミニウム合金の加工

市場規模 大型トラック向けウエッジブレーキチャンパー国内市場規模 93億円 (2019年)

目標売上 3年で国内市場シェア70.1% 780万円を目指す

自社戦略 プレーキチャンパーは高い圧力が加わるため強度が求められるとともに、軽量化が求められている 減速機で培った信頼性を生かしナブテスコの製品へ展開を図ると、長寿命化を実現させる

ドローン&アフトドア製品向けチタン・チタン合金の加工

市場規模 ドローンの世界市場規模 1.6兆円 (2020年) アフトドアの世界市場規模 1.5兆円 (2020年)

目標売上 合わせて 4,400万円を目指す

自社戦略 すでに取引のある企業との関係を強化し、他の高利の提供ができる事業も進める

【短期戦略】組織体制およびパートナー戦略

短期戦略では、ナブテスコとロボットアームの減速機用素材を共同開発・生産提携することで、コストを最小限に抑えつつ減速機市場に迅速に参入し、ナブテスコの取り扱う製品の中でポートフォリオを広げていくことで効率的な収益化を目指します。

共同開発 他にはない強度・靱性を持つ金属を作る調和組織構造技術を持つ

金属の焼結・成形・部品生産能力と各市場でトップシェアの販路を持つ

【当社内の体制】

CEO 長谷川
CFO 資金調達
品質管理 営業
CTO 田中
R&D 1名
加工製造 5名
品質管理 2名
R&D 1名
加工製造 5名
品質管理 2名
R&D 1名
加工製造 5名
品質管理 2名

【なぜナブテスコか？】

- ロボットアームの中で最も強度と靱性の両立が求められる関節部において基幹となる減速機の世界シェアを60%占拠。
- 製品化に必要な金属焼結・成形段階から生産能力を持つ。
- コアパートナーシップの中核でパワーショベルの減速機やトラックのウエッジチャンパー等への展開が見込まれる。

【提携内容の詳細】

- 提携形態：共同開発
- 提携内容：産業用ロボットアームとパワーショベルの減速機、トラックのウエッジチャンパーに最適化した調和組織構造の強化金属素材を共同開発。
- ナブテスコへの提供価値：共同開発素材の専売権、減速機・ウエッジチャンパー市場では中期以降もナブテスコのみ販売予定。
- 条件：素材開発費用1500万円の支出 ※この契約の成立しなかった場合は同じロボットアームの減速機市場でエモックドライブシステムズなどの企業に提案予定。

ナブテスコの協業で必要最低限の機能にリソース集中
中長期に向けた研究開発と最終市場の開拓も並行して進める
専門知識が求められる一方で常勤の必要がない※投資管理上資金調達は社外顧問を雇う ※2023年7月末時点

【短期戦略】事業展開詳細

パートナー企業との戦略的提携を視野に早急な研究開発を進めると共に、製造拠点となる工場の建設にも着手する。提携先企業の資産を活用して思い切った研究を開発を行い、素材と製品それぞれのポテンシャルを最大化していく。

時系列	大項目	詳細	自社/提携先
2021/8	提携企業交渉開始	ロボットアーム市場で用いられる減速機への参入を目的に、当該市場で高いシェアを誇る企業へ共同開発の交渉を開始	ナブテスコ ハーモニックドライブ社
2021/9	クロムモリブデン鋼の研究開始	減速機に用いられている素材を調和組織構造化させるため、交渉成立し先立ち自社内で研究開発を開始	自社
2021/9	製造工場建設準備	製造拠点を定める工場の建設に先立ち、東大阪市への申請と建設会社の選定を開始	自社
2022/2	契約締結完了	ナブテスコとの契約を締結させ、共同開発への準備を進める	ナブテスコ
2022/2	製造工場建設開始	製造工場の建設を着手させる	自社
2022/6	共同開発開始	自社で開発を進めていたクロムモリブデン鋼をロボットアーム向けに、パワーショベル向け減速機への製造に先立ち共同開発を開始 ナブテスコの保有する3Dプリンターで減速機のプロトタイプを作成し共同開発の組織化が見込まれる	ナブテスコ 自社
2022/9	共同開発完了	減速機向け共同開発完了 製造工場が完了する02年春春に向けて販売準備を進める	ナブテスコ 自社
2022/10	アルミニウムの研究開始	商用車用ウエッジブレーキチャンパーに用いられる素材の研究開発を開始する	自社
2023/2	製造工場完成 試験転開始	工場が完成してお客様会を行う 製造開始に先立ち試験転搬を行うオペレーションの確認をする	スターキョウダ各位 自社
2023/4	減速機向けクロムモリブデン鋼の販売開始	ついでこの日が解禁した！	ナブテスコ 自社
2023/10	アルミニウムの研究完了	アルミニウムの調和組織化が完成し、ナブテスコとプロトタイプを作成を開始する	ナブテスコ 自社
2023/12	ウエッジブレーキチャンパー向けアルミニウムの販売開始	強化アルミニウムを用いたウエッジブレーキチャンパーの販売に先立ち強化アルミニウムの販売開始	ナブテスコ 自社
2024/1	強化アルミニウムの提案	ドローン&アフトドア向けの企業に向けて、強度より軽量化が求められる箇所において強化アルミニウムの提案を開始	あいたま市 東大阪市の企業

【短期戦略】中長期戦略に向けた準備

短期戦略では、足元の収益を構築する活動の他、将来的なミッションを実現させていくための研究開発を並行して実施する。調和組織構造の技術を核として、それをさらに活用し・社会に価値を還元させていくことを重視して研究方針を策定。

中期に向けた準備

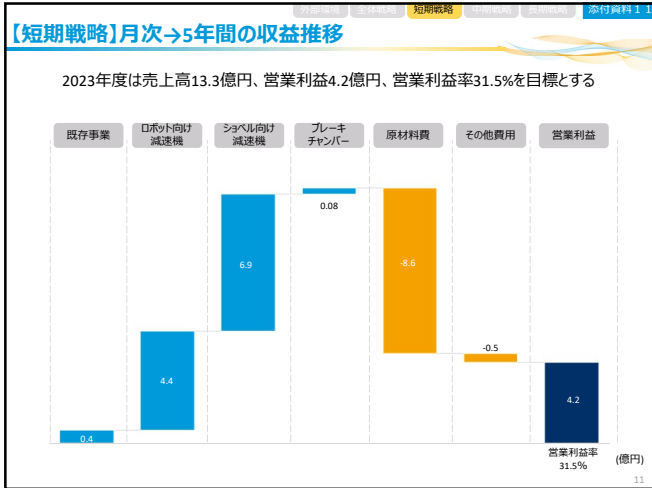
- 【生産体制の整備】
- ✓粉末強化処理プロセスの革新で量産体制を整備
- 【金型不要の次世代生産体制の整備】
- ✓3Dプリンターによる焼結・成型の代替

長期に向けた準備

- 【調和組織構造適用範囲の拡大】
- ✓接合しにくい金属と非金属の接合技術(素材および精製技術)におけるマルチマテリアルの獲得

各技術を自在に操ることのできる高度技術人材の育成

テーマ	月/準備事項	2021年			2022年			2023年			2024年		
		8	9	10	1	2	3	4	5	6	7	8	9
体制	営業採用				1名			5名					
	R&D採用				1名			1名					
	加工採用							4名					
	CFO設置							1名					
設備投資	粉末強化機械												
	3Dプリンター												



【中期戦略】注力市場と施策、売上目標

中期戦略では素材提供に特化したナブテスコの取り組みを維持しつつ、自社で川下産業に参入する道筋を確保する。従来の金属冶金ではなく、3Dプリンターによる成型を採用し、長期戦略での展開に繋げる。市場は金属粉末との相性の良さを含み、金属・工具業界へと参入、顧客の金型・工具使用時データを収集し、開発への転用と顧客へ提供価値増加のサイクルを創出する。

金型市場へ部品メーカーとして参入

製造業を中心として3Dプリンターの導入が進んでいるその背景としては、省原料化による60%の経費化ができた、金型を不要とするため短時間で製造できることが挙げられる

課題 金型での製造と比較すると、耐久性の面で劣っていたり大量生産に向かないため導入が部分的である。また、サイズの大規模な製品では製造費が高額となってしまう

調和組織構造

3Dプリンターでの製造は耐久性に劣るとされてきたが、強化素材を用いることでこの課題を克服する

3Dプリンターでの製造は耐久性に劣るとされてきたが、強化素材を用いることでこの課題を克服する

部品製造

金型市場へ参入することで、あらゆる製品の金型データを収集し部品製造のノウハウを蓄積することができ、将来的に素材・部品のレイアウトとなる足掛かりとする

共同開発 他にはない強度・靱性を持つ金属を作る調和組織構造技術を持つ

金属の焼結・成形・部品生産能力と各市場でトップシェアの販路を持つ

【ソディック (日)】 NC技術と靱性の高い素材の活用で製造時における高精度化を実現している。今後は高い精度を活かして超精密分野で事業拡大を狙う

【Markforged (米)】 プリンターの開発が行われ、プリンターで扱える素材のラインナップを拡張することで、様々な製品への転用を進めている

市場規模 1,382億円 ※2024年時点
目標売上 5.5億円 ※2027年時点

短期で着手しているロボットアーム等の既存領域については、CAGR4~17%で成長し、中期時点での事業のベースとなっている。

【中期戦略】組織体制およびパートナー(ステークホルダー)戦略

上場を見据えた社内体制の完備を進め、3Dプリンターを用いた製造の迅速な立ち上がりを目指し外部コンソールの活用を進める。社内においては「専門集団」としての価値を提供すべく、現場教育に注力する。

上場へ備えた社内体制

人事・財務・法務などのバックオフィスを含め、企業としての必要機能に人材を完備。CFO、COOも正式雇用する。2024～2026年度にかけて重要機能の人員を増員する。品質保証・カスタマーサービス・保守体制も確立することで顧客満足度を維持する。

CEO 長谷川

部門	人数
資金調達 (CFO)	1名
人事	1名
法務	8→15名
R&D	2名
調達	2名
生産技術	6→20名
粉末加工	2名
設計	6→20名
部品製造	1→5名
品質保証	1→5名
物流	5→10名
営業	2名
カスタマーサービス	3名
保守	3名

3Dプリンターに関するコンサル受講

3Dプリンターを用いた部品製造を迅速かつスムーズに進めるため、3D総研から3Dプリンターを用いた製造についてアドバイザーサービスを受ける。

専門集団を育てる社内研修

素材技術と生産技術の専門集団としての価値提供に向け、R&D、粉末加工、品質保証、部品製造の部門では現場教育に注力する。




【中期戦略】事業ポートフォリオと5年後の年間売上予測

短期戦略において、原料の価格変動や川下市場の業況変化への事業耐性を意識しながら、ナブテスコとの協業で調和組織構造の採用領域を一気呵成に拡大した。中期戦略では、短期戦略で築いた素材・市場のポートフォリオをベースに、強化素材の量産を可能にすると同時に、獲得した素材を元に既存販路の深耕や新規販路の開拓することで売上を拡大する。さらに、3Dプリンターによる成型技術を獲得し、金型工具等の部品製造にも進出、長期戦略に向けた足掛かりとする。

事業	調和組織構造に力を入れる領域					
	チタン	チタン合金	加工アルミ	アルミ	アルミ合金	鉄
既存取引 (ドローン/アットア)	短期戦略 (0.8億円/年)					
ロボットアーム 減速機			短期戦略 (7.4億円/年)			
パワーアシスト 走行ユニット減速機			短期戦略 (8.4億円/年)			
トラク クラップブレーキ チェン				短期戦略 (0.1億円/年)		
金型工具					中期戦略 (2.1億円/年)	
自動車・航空						長期戦略に 向けR&D

5年後の収益想定 **売上19億円 粗利7.1億円**

【長期戦略】10年後に発揮できる価値

日本の製造業が直面する課題

- 顧客ニーズの変化・多様化が一層加速
 - タイムリーかつ柔軟に顧客ニーズに応えるべくウォーターフォール型開発からアジャイル開発へ転換が必要となる
 - DXを含み、素材から部品まで、新たな価値提供が常に模索される
- 人口減少社会における人手不足
 - 一人当たりの生産性向上と他社との協業重視の傾向が加速
- 2030年環境目標も踏まえ、環境意識の更なる高まり
 - 脱炭素、省資源、リサイクル等への強力な対応が必要

変革における難所

- VC全体生産体制は簡単に案じられない
 - 規模が大きくなればなるほど、生産体制の変革が与える影響は大きく複雑で、求められる変化のスピードに対応できない
- 先端技術のキャッチアップが困難
 - 素材から製法に至るまで高速で進化している技術を現場と並行して収集・判断することが困難
- 素材の高機能化と環境負荷軽減がトレードオフとなってしまう
 - CERFなどの現行材料で、省工化・長寿命化できるリサイクルが困難
- 推進する人材の不在
 - 広範なVCの課題を網羅し、社内外を統合する高度人材が自社に不在

当社が蓄積する「高機能素材技術」と3Dプリンターによる量産技術の知見を統合し、日本の製造業の未来を拓く競争の両手となる。

Harmonic Powerの提供価値

素材技術の専門集団

- 製品性能からのバックキャストで素材に求める機能を定義、自由自在な調和組織構造を得意し、高機能素材を求める顧客に応えられる世界一の集団となる。特に、
- 専門特化した人材を投入、企画設計から製造・高機能素材の調達まで一気通貫で請け負えることが製造業のゲームチェンジャーとなる唯一無二の競争優位の源泉に。
- VC変革の中核を担う、次世代製造業企業に不可欠な戦略パートナーへ

生産技術の専門集団

- マルチマテリアル化・量産化を可能とした3Dプリンター技術を持つと共に、生産効率や保守運用、省資源まで見越した部品設計を可能とする製造プロセス人材を擁する世界一の集団である。

実現可能となる取り組み

- 高速モックアップの制作
- 自由な造形による部品製造
- 少量多品種から大量生産まで柔軟な製造体制
- 実用を見越した素材・設計による短時間・省工数での修理、保守の実現
- リサイクル可能な素材での製造

従来の金属粉末技術では不可能だった大径部品の両側面も可能なため、自動車・航空産業を含む、様々な市場への展開が期待できる。

2030年売上100億円 営業利益18億円 当期純利益12.5億円の企業へ

【資産計画】戦略実行のために獲得すべき資産

2021年にナブテスコより1500万円、2022年にベンチャーキャピタルおよび銀行借入により2億円の資金調達を想定。本社機能や工場などの拡張計画を踏まえ、総資産は下記の通り推移する見込んでいます。

項目	2022/7	2024/7	2027/7	2030/7
現金当座	450,000	1,200,000	1,800,000	2,500,000
固定資産	200,000	1,500,000	2,000,000	2,500,000
総資産	650,000	2,700,000	3,800,000	5,000,000

主な獲得資産および資産関連事項

項目	2022/7	2024/7	2027/7	2030/7
調和組織構造の製造に関する特許				
本社大阪・大阪府、15名程度は保有しず買戻				
3Dプリンターを14台保有				
2025年に本社移転(梅田、100名程度)は保有せず賃貸 ※80名程度は工場と近い(東大)に集約				
粉末強化機材を12台保有				
大阪府の大阪府企業立地促進補助金を活用して資金調達				
3Dプリンターを5台保有				
粉末強化機材を14台保有				
3Dプリンターを12台保有				

【計数計画】売上推移

(単位: 億円)

調和組織構造の素材売上をベースとして部品メーカーとして顧客ニーズに関する知見を溜め、素材と部品を一気通貫で製造する案件の高を右肩上がりに増やしていく。

グロス市場への上場

年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度
既存取引	0.3	4	13	15	19	23	53	23	28	40
素材メーカー							6	9	13	19
部品メーカー							24	28	33	40
レイヤーメーカー							23	28	34	40

短期 中期 長期

【計数計画】キャッシュフロー予測

(単位: 千円)

項目	毎年度データ (円換算)									
	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度
開閉現金残高	8,423	6,635	212,157	492,935	532,882	480,127	323,442	965,597	1,996,307	3,669,901
営業キャッシュフロー	-1,788	12,189	294,113	119,927	40,598	-63,532	735,489	1,324,043	1,966,927	2,820,869
投資キャッシュフロー	-3,888	9,494	418,822	20,044	-74,440	-167,023	-148,077	230,996	913,107	1,788,970
財務キャッシュフロー	2,100	-11,791	-150,282	-28,490	-42,005	-53,473	-362,617	-154,137	-184,792	-235,284
固定資産等の取得による支出	-200,000	0	-1,000,000	-200,000	0	-16,980,401	0	-200,000	-200,000	0
固定資産の売却	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
株主による調達	0	200,000	0	0	0	10,900,401	0	0	0	0
借入金による調達	0	1,000,000	200,000	0	0	0	0	0	0	0
借入金返済による支出	0	-6,667	-13,333	-80,000	-93,333	-93,333	-93,333	-93,333	-93,333	-93,333
その他の項目	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
期末現金残高	6,635	212,157	492,935	532,882	480,127	323,442	965,597	1,996,307	3,669,901	6,397,420

損益計算書

(単位：千円)

	月次データ											
	2021年8月期	2021年9月期	2021年10月期	2021年11月期	2021年12月期	2022年1月期	2022年2月期	2022年3月期	2022年4月期	2022年5月期	2022年6月期	2022年7月期
売上高	3,542	3,604	3,667	3,733	3,801	3,870	3,942	4,016	4,093	4,172	4,253	4,336
売上原価	3,194	3,234	3,275	3,318	3,362	3,407	3,454	3,502	3,552	3,603	3,656	3,710
売上総利益	348	370	392	415	438	463	488	514	541	568	597	626
販売費及び一般管理費	423	423	423	423	423	423	1,023	1,023	1,023	1,023	1,023	1,023
営業利益	-75	-54	-32	-9	15	39	-535	-510	-483	-455	-427	-398
営業外収益 (うち、受取利息)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
営業外費用 (うち、支払利息)	11	11	11	11	11	11	11	178	178	178	178	178
経常利益	-86	-65	-43	-20	4	28	-546	-687	-660	-633	-604	-575
特別利益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特別損失	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
税引前利益	-86	-65	-43	-20	4	28	-546	-687	-660	-633	-604	-575
法人税等	0	0	0	0	1	8	0	0	0	0	0	0
当期純利益	-86	-65	-43	-20	3	20	-546	-687	-660	-633	-604	-575
(参考) 減価償却費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(参考) 研究開発費	293	293	293	293	293	293	293	293	293	293	293	293

貸借対照表

(単位：081円)

	2021年8月期	2021年9月期	2021年10月期	2021年11月期	2021年12月期	2022年1月期	2022年2月期	2022年3月期	2022年4月期	2022年5月期	2022年6月期	2022年7月期
現預金	10,532	10,445	10,409	10,367	10,378	10,397	9,791	9,146	8,460	7,834	7,203	6,635
売上債権	557	585	576	606	598	608	686	631	665	656	691	682
棚卸資産	336	353	348	366	361	367	414	381	401	396	417	412
その他流動資産	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
有形固定資産	6,326	6,252	6,178	6,104	6,030	5,956	205,881	205,807	205,733	205,659	205,585	205,511
無形固定資産	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
資産合計	17,851	17,736	17,612	17,543	17,465	17,429	216,873	216,066	215,360	214,645	213,996	213,339
仕入債務	467	491	483	508	501	510	575	529	557	550	579	571
その他流動負債	560	560	560	560	560	560	560	560	560	560	560	560
リース債務	6,211	6,137	6,063	5,989	5,915	5,841	5,766	5,692	5,618	5,544	5,470	5,396
短期借入金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
長期借入金	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	212,000	212,000	212,000	212,000	212,000	212,000
負債合計	19,238	19,187	19,106	19,057	18,975	18,910	218,901	218,781	218,735	218,654	218,609	218,527
資本金	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000
利益剰余金	-10,385	-10,450	-10,493	-10,513	-10,509	-10,481	-11,027	-11,714	-12,375	-13,008	-13,612	-14,187
純資産合計	-1,385	-1,450	-1,493	-1,513	-1,509	-1,481	-2,027	-2,714	-3,375	-4,008	-4,612	-5,187
負債・純資産合計	17,852	17,737	17,613	17,544	17,466	17,430	216,874	216,067	215,361	214,646	213,997	213,340

キャッシュフロー計算書

(単位：千円)

	月次データ											
	2021年8月期	2021年9月期	2021年10月期	2021年11月期	2021年12月期	2022年1月期	2022年2月期	2022年3月期	2022年4月期	2022年5月期	2022年6月期	2022年7月期
期初現金残高	8,423	10,532	10,445	10,409	10,367	10,378	10,397	9,791	9,146	8,460	7,834	7,203
営業キャッシュフロー	2,109	-87	-36	-43	11	20	-606	-645	-686	-626	-631	-568
税引後当期純利益	-86	-65	-43	-20	4	28	-546	-687	-660	-633	-604	-575
減価償却費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
運転資本の対前期比較	2,196	-22	7	-23	7	-8	-60	42	-26	7	-27	7
その他の項目	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
投資キャッシュフロー	0	0	0	0	0	0	-200,000	0	0	0	0	0
固定資産等の取得による支出	0	0	0	0	0	0	-200,000	0	0	0	0	0
その他の項目	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
財務キャッシュフロー	0	0	0	0	0	0	200,000	0	0	0	0	0
株式発行による調達	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
借入金による調達	0	0	0	0	0	0	200,000	0	0	0	0	0
借入金返済による支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の項目	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
期末現金残高	10,532	10,445	10,409	10,367	10,378	10,397	9,791	9,146	8,460	7,834	7,203	6,635

損益計算書 売上高比

	2021年8月期	2021年9月期	2021年10月期	2021年11月期	2021年12月期	2022年1月期	2022年2月期	2022年3月期	2022年4月期	2022年5月期	2022年6月期	2022年7月期
売上高	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
売上原価	90.2%	89.7%	89.3%	88.9%	88.5%	88.0%	87.6%	87.2%	86.8%	86.4%	86.0%	85.6%
売上総利益	9.8%	10.3%	10.7%	11.1%	11.5%	12.0%	12.4%	12.8%	13.2%	13.6%	14.0%	14.4%
販売費及び一般管理費	12.0%	11.7%	11.5%	11.3%	11.1%	10.9%	26.0%	25.5%	25.0%	24.5%	24.1%	23.6%
営業利益	-2.1%	-1.5%	-0.9%	-0.2%	0.4%	1.0%	-13.6%	-12.7%	-11.8%	-10.9%	-10.0%	-9.2%
営業外収益	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
(うち、受取利息)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
営業外費用	0.3%	0.3%	0.3%	0.3%	0.3%	0.3%	0.3%	4.4%	4.3%	4.3%	4.2%	4.1%
(うち、支払利息)	0.3%	0.3%	0.3%	0.3%	0.3%	0.3%	0.3%	4.4%	4.3%	4.3%	4.2%	4.1%
経常利益	-2.4%	-1.8%	-1.2%	-0.5%	0.1%	0.7%	-13.9%	-17.1%	-16.1%	-15.2%	-14.2%	-13.3%
特別利益	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
特別損失	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
税引前利益	-2.4%	-1.8%	-1.2%	-0.5%	0.1%	0.7%	-13.9%	-17.1%	-16.1%	-15.2%	-14.2%	-13.3%
税金等	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
当期純利益	-2.4%	-1.8%	-1.2%	-0.5%	0.1%	0.5%	-13.9%	-17.1%	-16.1%	-15.2%	-14.2%	-13.3%

損益計算書

(単位：千円)

	月次データ											
	2022年8月期	2022年9月期	2022年10月期	2022年11月期	2022年12月期	2023年1月期	2023年2月期	2023年3月期	2023年4月期	2023年5月期	2023年6月期	2023年7月期
売上高	3,892	3,964	4,039	4,116	4,196	4,277	4,362	4,449	101,996	102,088	102,184	102,281
売上原価	3,422	3,469	3,517	3,567	3,619	3,672	3,727	3,784	67,189	67,249	67,311	67,375
売上総利益	470	496	522	549	577	605	635	665	34,807	34,839	34,872	34,907
販売費及び一般管理費	7,673	7,673	8,673	8,673	8,673	8,673	11,054	14,210	14,207	14,204	14,202	14,199
営業利益	-7,203	-7,178	-8,152	-8,125	-8,097	-8,068	-10,420	-13,545	20,599	20,634	20,671	20,708
営業外収益 (うち、受取利息)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
営業外費用 (うち、支払利息)	178	178	178	178	178	178	178	178	178	178	178	178
経常利益	-7,381	-7,355	-8,329	-8,302	-8,274	-8,246	-10,597	-13,722	20,422	20,457	20,493	20,530
特別利益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特別損失	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
税引前利益	-7,381	-7,355	-8,329	-8,302	-8,274	-8,246	-10,597	-13,722	20,422	20,457	20,493	20,530
法人税等	0	0	0	0	0	0	0	0	6,127	6,137	6,148	6,159
当期純利益	-7,381	-7,355	-8,329	-8,302	-8,274	-8,246	-10,597	-13,722	14,295	14,320	14,345	14,371
(参考) 減価償却費	0	0	0	0	0	0	2,381	2,381	2,381	2,381	2,381	2,381
(参考) 研究開発費	293	293	293	293	293	293	293	293	293	293	293	293

貸借対照表

(単位：081円)

	2022年8月期	2022年9月期	2022年10月期	2022年11月期	2022年12月期	2023年1月期	2023年2月期	2023年3月期	2023年4月期	2023年5月期	2023年6月期	2023年7月期
現預金	199,307	191,927	183,605	175,277	167,009	158,754	150,471	139,175	149,826	173,061	195,514	212,157
売上債権	612	644	635	669	660	672	759	699	16,569	16,049	16,600	16,079
棚卸資産	369	389	383	404	398	406	458	422	10,002	9,688	10,021	9,707
その他流動資産	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
有形固定資産	205,437	205,363	205,289	205,215	205,141	205,067	202,612	200,157	197,702	195,247	192,792	190,337
無形固定資産	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
資産合計	405,826	398,423	390,012	381,664	373,308	364,999	354,400	340,554	374,199	394,146	415,026	428,379
仕入債務	513	540	532	560	553	563	636	586	13,883	13,448	13,909	13,473
その他流動負債	560	560	560	560	560	560	560	560	560	560	560	560
リース債務	5,322	5,248	5,174	5,100	5,026	4,952	4,878	4,804	4,729	4,655	4,581	4,507
短期借入金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
長期借入金	212,000	212,000	212,000	212,000	212,000	212,000	212,000	212,000	212,000	212,000	212,000	205,333
負債合計	218,395	218,348	218,266	218,220	218,138	218,075	218,074	217,950	231,173	230,663	231,050	223,874
資本金	209,000	209,000	209,000	209,000	209,000	209,000	209,000	209,000	209,000	209,000	209,000	209,000
利益剰余金	-21,568	-28,923	-37,253	-45,555	-53,830	-62,075	-72,673	-86,395	-65,973	-45,516	-25,023	-4,493
純資産合計	187,432	180,077	171,747	163,445	155,170	146,925	136,327	122,605	143,027	163,484	183,977	204,507
負債・純資産合計	405,827	398,424	390,013	381,665	373,309	365,000	354,401	340,555	374,200	394,147	415,027	428,380

キャッシュフロー計算書

(単位：千円)

	月次データ											
	2022年8月期	2022年9月期	2022年10月期	2022年11月期	2022年12月期	2023年1月期	2023年2月期	2023年3月期	2023年4月期	2023年5月期	2023年6月期	2023年7月期
期初現金残高	6,635	199,307	191,927	183,605	175,277	167,009	158,754	150,471	139,175	149,826	173,061	195,514
営業キャッシュフロー	-7,327	-7,380	-8,322	-8,328	-8,267	-8,256	-8,283	-11,296	10,650	23,236	22,452	23,309
税引後当期純利益	-7,381	-7,355	-8,329	-8,302	-8,274	-8,246	-10,597	-13,722	20,422	20,457	20,493	20,530
減価償却費	0	0	0	0	0	0	2,381	2,381	2,381	2,381	2,381	2,381
運転資本の対前期比較	53	-25	7	-26	7	-10	-66	46	-12,153	398	-422	398
その他の項目	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
投資キャッシュフロー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
固定資産等の取得による支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の項目	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
財務キャッシュフロー	200,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-6,667
株式発行による調達	200,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
借入金による調達	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
借入金返済による支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-6,667
その他の項目	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
期末現金残高	199,307	191,927	183,605	175,277	167,009	158,754	150,471	139,175	149,826	173,061	195,514	212,157

損益計算書 売上高比

	2022年8月期	2022年9月期	2022年10月期	2022年11月期	2022年12月期	2023年1月期	2023年2月期	2023年3月期	2023年4月期	2023年5月期	2023年6月期	2023年7月期
売上高	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
売上原価	87.9%	87.5%	87.1%	86.7%	86.3%	85.9%	85.4%	85.0%	65.9%	65.9%	65.9%	65.9%
売上総利益	12.1%	12.5%	12.9%	13.3%	13.7%	14.1%	14.6%	15.0%	34.1%	34.1%	34.1%	34.1%
販売費及び一般管理費	197.2%	193.6%	214.8%	210.7%	206.7%	202.8%	253.4%	319.4%	13.9%	13.9%	13.9%	13.9%
営業利益	-185.1%	-181.1%	-201.9%	-197.4%	-193.0%	-188.6%	-238.9%	-304.5%	20.2%	20.2%	20.2%	20.2%
営業外収益	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
(うち、受取利息)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
営業外費用	4.6%	4.5%	4.4%	4.3%	4.2%	4.2%	4.1%	4.0%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%
(うち、支払利息)	4.6%	4.5%	4.4%	4.3%	4.2%	4.2%	4.1%	4.0%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%
経常利益	-189.6%	-185.5%	-206.2%	-201.7%	-197.2%	-192.8%	-242.9%	-308.4%	20.0%	20.0%	20.1%	20.1%
特別利益	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
特別損失	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
税引前利益	-189.6%	-185.5%	-206.2%	-201.7%	-197.2%	-192.8%	-242.9%	-308.4%	20.0%	20.0%	20.1%	20.1%
税金等	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.0%	6.0%	6.0%	6.0%
当期純利益	-189.6%	-185.5%	-206.2%	-201.7%	-197.2%	-192.8%	-242.9%	-308.4%	14.0%	14.0%	14.0%	14.1%

損益計算書

(単位：千円)

	年度データ (7月決算)									
	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度
売上高	47,030	441,843	1,325,204	1,559,039	1,901,391	2,343,617	5,292,661	6,548,926	8,055,040	10,000,000
売上原価	41,272	297,901	872,085	987,430	1,181,596	1,443,437	2,833,630	3,437,609	4,197,970	5,207,970
売上総利益	5,758	143,943	453,119	571,609	719,795	900,180	2,459,031	3,111,316	3,857,070	4,792,030
販売費及び一般管理費	8,681	132,117	35,352	539,752	779,324	1,053,124	2,594,964	2,868,109	2,932,696	2,992,727
営業利益	-2,923	11,826	417,767	31,857	-59,529	-152,944	-135,933	243,207	924,374	1,799,303
営業外収益 (うち、受取利息)	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0
営業外費用 (うち、支払利息)	965 965	2,132 2,132	1,944 1,944	11,811 11,811	15,011 15,011	14,078 14,078	13,144 13,144	12,211 12,211	11,267 11,267	10,333 10,333
経常利益	-3,888	9,694	415,822	20,046	-74,540	-167,022	-149,077	230,996	913,107	1,788,970
特別利益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特別損失	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
税引前利益	-3,888	9,694	415,822	20,046	-74,540	-167,022	-149,077	230,996	913,107	1,788,970
法人税等	0	2,908	124,747	6,014	0	0	0	69,299	273,932	536,691
当期純利益	-3,888	6,786	291,076	14,032	-74,540	-167,022	-149,077	161,697	639,175	1,252,279
(参考) 減価償却費	0	14,286	28,571	128,571	157,143	157,143	1,247,183	1,247,183	1,238,612	1,267,183
(参考) 研究開発費	3,521	3,521	3,521	3,521	3,521	3,521	3,521	3,521	3,521	3,521

貸借対照表

(単位：081円)

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度
現預金	6,635	212,157	492,935	532,862	480,127	323,442	965,597	1,996,307	3,669,901	6,397,436
売上債権	682	16,079	212,329	249,795	304,647	374,476	848,008	1,049,291	1,290,606	1,597,856
棚卸資産	412	9,707	128,179	150,796	183,909	226,064	511,926	633,436	779,113	964,594
その他流動資産	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
有形固定資産	205,511	190,337	1,161,691	1,433,046	1,275,829	12,019,013	10,771,756	9,724,499	8,685,813	7,418,556
無形固定資産	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
資産合計	213,339	428,379	1,995,233	2,366,598	2,244,612	12,943,095	13,097,387	13,403,633	14,425,533	16,378,543
仕入債務	571	13,473	177,912	209,305	255,267	313,777	710,554	879,210	1,081,410	1,338,858
その他流動負債	560	560	560	560	560	560	560	560	560	560
リース債務	5,396	4,507	4,433	4,359	4,285	4,211	4,137	4,063	3,989	3,915
短期借入金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
長期借入金	212,000	205,333	1,192,000	1,512,000	1,418,667	1,325,333	1,232,000	1,138,667	1,045,333	952,000
負債合計	218,527	223,874	1,374,905	1,726,224	1,678,778	1,643,881	1,947,250	2,022,500	2,131,292	2,295,333
資本金	9,000	209,000	209,000	209,000	209,000	11,109,401	11,109,401	11,109,401	11,109,401	11,109,401
利益剰余金	-14,187	-4,493	411,329	431,375	356,835	189,813	40,736	271,733	1,184,840	2,973,809
純資産合計	-5,187	204,507	620,329	640,375	565,835	11,299,215	11,150,138	11,381,134	12,294,241	14,083,211
負債・純資産合計	213,340	428,380	1,995,234	2,366,599	2,244,613	12,943,096	13,097,388	13,403,634	14,425,534	16,378,544

キャッシュフロー計算書

(単位：千円)

	年度データ (7月決算)									
	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度
期初現金残高	8,423	6,635	212,157	492,935	532,862	480,127	323,442	965,597	1,996,307	3,669,901
営業キャッシュフロー	-1,788	12,189	294,112	119,927	40,598	-63,352	735,489	1,324,043	1,966,927	2,820,869
税引後当期純利益	-3,888	9,694	415,822	20,046	-74,540	-167,022	-149,077	230,996	913,107	1,788,970
減価償却費	0	14,286	28,571	128,571	157,143	157,143	1,247,183	1,247,183	1,238,612	1,267,183
運転資本の対前期比較	2,100	-11,791	-150,282	-28,690	-42,005	-53,473	-362,617	-154,137	-184,792	-235,284
その他の項目	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
投資キャッシュフロー	-200,000	0	-1,000,000	-200,000	0	-10,900,401	0	-200,000	-200,000	0
固定資産等の取得による支出	-200,000	0	-1,000,000	-200,000	0	-10,900,401	0	-200,000	-200,000	0
その他の項目	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
財務キャッシュフロー	200,000	193,333	986,667	120,000	-93,333	10,807,068	-93,333	-93,333	-93,333	-93,333
株式発行による調達	0	200,000	0	0	0	10,900,401	0	0	0	0
借入金による調達	200,000	0	1,000,000	200,000	0	0	0	0	0	0
借入金返済による支出	0	-6,667	-13,333	-80,000	-93,333	-93,333	-93,333	-93,333	-93,333	-93,333
その他の項目	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
期末現金残高	6,635	212,157	492,935	532,862	480,127	323,442	965,597	1,996,307	3,669,901	6,397,436

損益計算書 売上高比

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度
売上高	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
売上原価	87.8%	67.4%	65.8%	63.3%	62.1%	61.6%	53.5%	52.5%	52.1%	52.1%
売上総利益	12.2%	32.6%	34.2%	36.7%	37.9%	38.4%	46.5%	47.5%	47.9%	47.9%
販売費及び一般管理費	18.5%	29.9%	2.7%	34.6%	41.0%	44.9%	49.0%	43.8%	36.4%	29.9%
営業利益	-6.2%	2.7%	31.5%	2.0%	-3.1%	-6.5%	-2.6%	3.7%	11.5%	18.0%
営業外収益	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
(うち、受取利息)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
営業外費用	2.1%	0.5%	0.1%	0.8%	0.8%	0.6%	0.2%	0.2%	0.1%	0.1%
(うち、支払利息)	2.1%	0.5%	0.1%	0.8%	0.8%	0.6%	0.2%	0.2%	0.1%	0.1%
経常利益	-8.3%	2.2%	31.4%	1.3%	-3.9%	-7.1%	-2.8%	3.5%	11.3%	17.9%
特別利益	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
特別損失	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
税引前利益	-8.3%	2.2%	31.4%	1.3%	-3.9%	-7.1%	-2.8%	3.5%	11.3%	17.9%
税金等	0.0%	0.7%	9.4%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	1.1%	3.4%	5.4%
当期純利益	-8.3%	1.5%	22.0%	0.9%	-3.9%	-7.1%	-2.8%	2.5%	7.9%	12.5%

【出所一覧】

添付資料 2

THE WORLD BANK 『Commodity Markets』 <https://www.worldbank.org/en/research/commodity-markets>

(株)グローバルインフォメーション 『人口関節の世界市場』 <https://www.gii.co.jp/report/go957483-artificial-joints.html>

(株)グローバルインフォメーション 『世界の義肢・装具市場の分析と予測』 <https://www.gii.co.jp/report/grvi726457-prosthetics-orthotics-market-size-share-trends.html>

インプレス総合研究所 『ドローンビジネス調査報告書 2021』 <https://research.impress.co.jp/topics/list/drone/623>

(株)矢野経済研究所 『アウトドア市場に関する調査』 https://www.yano.co.jp/press-release/show/press_id/2532

添付資料 3

経済産業省 『チタン業界の動向』 https://www.meti.go.jp/policy/nonferrous_metal/strategy/titanium02.pdf

中小企業庁 『(五) 粉末冶金に係る技術に関する事項』 <https://www.chusho.meti.go.jp/keiei/sapoin/download/shishin/s05.pdf>

経済産業省 『非鉄金属産業戦略』 https://www.meti.go.jp/policy/nonferrous_metal/strategy_top.html

添付資料 5

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 『金属積層造形プロセス概要』

<https://www.nedo.go.jp/content/100888741.pdf>

(株)ハーモニック・ドライブ・システムズ 『ロボットマニピュレーションを支える減速機』

https://www.istage.jst.go.jp/article/sicej/56/10/56_764/article-char/ja/

添付資料 7

ナブテスコ(株) 『IR ライブラリー』 <https://www.nabtesco.com/ir/library/>

日立建機(株) 『国内の建設機械の出荷金額』 <https://www.hitachicm.com/global/jp/ir/financial/market/>

トラック NEXT 『トラック販売台数』 <https://www.truck-next.com/salesdata/>

MONOist(矢野経済研究所引用) 『2020年のドローン世界市場は1.6兆円、2025年まで年平均8.3%で成長』

<https://monoist.atmarkit.co.jp/mn/articles/2003/19/news062.html>

(株)グローバルインフォメーション 『世界のキャンプ用品市場規模調査』 <https://www.gii.co.jp/report/bzc1006294-global-camping-equipment-market-size-study-by.html>

添付資料 12

全研本社(株) 『比較して選ぶ！おすすめの業務用3DプリンターGUIDE』 <https://www.recmbus-3dprint.com/host/>

リコー(株) 『生産工程改善支援』 https://www.ricoh.co.jp/3dp/print_service/option/consulting/

日経テレコン 『金型』 https://www.nikkei.com/telecom/industry_s/0156

Markforged <https://markforged.com/jp/digital-forge>

Sodick <https://www.sodick.co.jp/>

国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構 『技術戦略研究センターレポート』

<https://www.nedo.go.jp/content/100888376.pdf>

添付資料 15

環境省 『2030年目標に向けた検討』 https://www.enecho.meti.go.jp/committee/council/basic_policy_subcommittee/039/039_005.pdf

添付資料 17

大阪府 『大阪府企業立地促進補助金』 https://www.pref.osaka.lg.jp/attach/1912/00003498/tetudukiannnai_hunai.pdf